

所属・資格 中国語中国文化学科・教授

申請者氏名 神谷 まり子

研究課題		中国近代通俗文学における乗りものの表象に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	中国近代通俗文学において自動車や汽車、人力車などの乗りものの表象を検討することで、近代の交通手段がどのように文学に影響を与えたのかについて、研究を行った。
	研究の 結果	今年度は1920年代の上海で流行した通俗小説における女性と自動車の関係性を探った。具体的には、中国初の「自動車小説」とも言える朱瘦菊『新歌浦潮』において、自動車に関する描写が女性像とどのように関連づけられ、またそれらが作品のなかでいかなる意味を持っていたのか、小説におけるジェンダーとモビリティの関係性について検討した論文「自動車に乗る女性——朱瘦菊『新歌浦潮』に描かれる「自由」を執筆した（中国文芸研究会『野草』令和2年掲載予定（号数未定））。また、清末民初から中華民国期にかけての小説、演劇を中心とした通俗メディア研究を行い、これに関連した書評および合評の成果を発表した（以下の研究成果物を参照）。
	研究の 考察・ 反省	上記に記した研究目的・概要について、現在日本国内で収集可能な資料をおおむね検証することができた。一方、海外での調査が必要な部分については、学内業務や新型コロナウイルス感染防止による出張延期のため、進めることができなかった。次年度以降に調査を行い、さらに研究を深めてゆく所存である。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>（研究成果物） 神谷まり子（書評）「田村容子『男旦とモダンガール』、『図書新聞』、3418号、2019年10月12日 神谷まり子（合評）「藤井得弘 清末小説『鴉片案』論：探偵小説と譴責小説との接点を手掛かりに」、中国文芸研究会『野草』103号、2019年10月</p>	